

Beethoven Sonatas for Violin and Piano

<プログラム>

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 1長調 Op.12-2

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調 Op.24「春」

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第10番 ト長調 Op.96

*やむを得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。

前田 妃奈 &

©Taira Tairadate

久末 航

デュオリサイタル

対話としてのベートーヴェン——
若き才能が解き放つソナタたち

2025年

10月11日(土)

開場 14:30/開演 15:00

入場料:会員4,500円(座席指定可)/

一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)



Shibuya Mitake Salon (vol.186)

©Janine Guldener

完売御礼

※キャンセル待ち受付中



前田 妃奈&久末 航デュオリサイタル



2025年10月11日(土) 開場 14:30/開演 15:00

完売御礼

123
Shibuya Mitake Salon (vol.186)

入場料:会員4,500円(座席指定可)/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)※キャンセル待ち受付中

いま最も聴いてみたい若き俊英、二人が挑む、 三つのベートーヴェン・ソナタ

前田 妃奈×久末 航 ———— この注目されている二人が、ベートーヴェンを弾く。

いつのまにか注目を集めているこの二人が出演する、この事実だけで、胸が高鳴るのではないかと!

しかも選ばれたのは、第2番、第5番「春」、第10番という、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタの変遷を象徴する三つの作品である。

前田 妃奈は、まさに飛ぶ鳥を落とす勢いだ。

2022年ウィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクールでの鮮烈な優勝は記憶に新しく、その演奏は、神がかった集中力に支えられ、豊かな感性と細やかな情感、自由闊達な音楽運びに満ちていた。

音楽を「理解」しているというより、「感じて」いる——いや、「音楽の命を生きている」と言ったほうが近いのかもしれない。

“瑞々しい”という言葉だけでは足りない。

まるで楽器が彼女の分身であるかのように、音楽が自然と湧き出てくる。

音楽そのものとひとつになる瞬間を感じさせ、舞台に立った瞬間には、空気がふわっと変わる。

その空気の変化に、何度となく驚かされてきた。

一方、久末 航のピアノは、静かで、深く、よく響く。

華美に流れることなく、音楽の構造と魂に真っ直ぐ向き合うその姿勢には、揺るぎない情熱と誠実さがある。

だが、それだけではない。

ベートーヴェンを弾けば、核心を射抜くような推進力があり、ブラームスを弾けば、重厚な響きのなかから情熱と哀しみが静かに立ち上り、心を深く揺さぶる。

現代作品を手がければ、閑さと緻密さが響きのなかに共存し、新たな風景を描き出す。

彼の演奏には、深い「信」がある——音楽を信じ、作品を信じ、聴き手を信じている。

2025年、エリザベート王妃国際音楽コンクールでの第2位受賞(日本人歴代最高位)は、その信念の証明だろう。

ベートーヴェンのような作曲家にとって、これほど信頼できるピアニストがいるだろうか。

そんなふたりが、三つのベートーヴェンのソナタで“対話”を試みるのだ。

第2番では、形式と対位法に戯れる若きベートーヴェンが。

第5番「春」では、自然と親しみ、旋律が花開くような優しさと、音楽への挑戦が…。

そして第10番では、すべてを見渡した晩年の静けさと内省が——

作品の風景が移ろうなかで、ふたりの音楽家がどのように耳を澄まし、寄り添い、

すれ違い、また重なっていくのか。

まさに、“生きた音楽の対話”がそこに立ち上がる。

いま最も注目されるこのふたりのアーティストが、美竹サロンという親密な空間で奏でるベートーヴェン。

技巧や経歴では語り尽くせない、音楽の“本当の意味”が垣間見えるかもしれない。そんな予感に、静かに心を預けたいくなるのだ。

(渋谷美竹サロン)



© Taira Tairadate



© Janine Guldener

前田 妃奈 (Hina MAEDA) Violin

2022年第16回ヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールで優勝し、国際的に注目を集める新進気鋭のヴァイオリニスト。全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部第1位をはじめ、日本音楽コンクール第2位及び岩谷賞(聴衆賞)、20年東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞など輝かしい受賞歴を誇る。11歳で関西フィルと共演し、22年から23年にかけて20カ国、60地域での演奏会に出演。小栗ま絵、原田幸一郎、神尾真由子の各氏に師事。大阪文化祭奨励賞、大阪文化賞、ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞受賞。現在、東京音楽大学アーティストディプロマコース在学中。使用楽器はサントリー芸術財団より貸与され

久末 航 (Wataru HISASUE) Piano

2025年、世界三大コンクールのひとつ、エリザベート王妃国際音楽コンクールで日本人史上最高位の第2位受賞。国際的に大きな話題を集めた。2017年にはミュンヘン国際音楽コンクールで第3位および委嘱作品特別賞を受賞するなど、国内外で多数受賞。これまで、ヨーロッパの数々の音楽祭に出演。バイエルン放送交響楽団をはじめ、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、東京都交響楽団など国内外のオーケストラと共演。2021年、CD「ザ・リサイタル」をリリース。今年10月には、ドイツのレーベル GENUIN classics からデュサパン作品集をリリース。フライブルク音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学をそれぞれ最優秀の成績をもって修了。ベルリン在住。

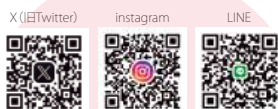


渋谷駅 徒歩2分
宮益坂、
クラシック音楽サロン、
誕生。

大好評につき
サロンメンバーズ
追加募集中!



日本のトップクラスの演奏家たちが、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
渋谷美竹サロン(美竹清花さん)が追求する
“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)
☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)
070-2168-8484 (繋がりにくい場合)
Fax 03(3409)0188
公式Webサイト